

投資リスクを踏まえた事業展開で、新興国需要を取り込む (玉田工業 株式会社)

会社概要(平成23年2月現在)

- 所在地:
(本社)石川県金沢市無量寺町ハ61-1
(九州工場)熊本県菊池市七城町蘇崎1196-1
- 代表者:代表取締役 玉田 善明
- 資本金:5,250万円
- 売上高:53億円
- 従業員数:198人
- URL:<http://www.tamada.co.jp/>

①事業概要

<SF二重殻地下タンク、耐震性防水槽製造・販売>

現在、全国トップシェアを誇るSF二重殻タンク。

それらを初めとする当社の製品の背景には、長年の豊富な実績と経験、ものづくりへの熱い思いそして、独自の発想で確立したFRP素材と他素材を複合する技術とノウハウがある。

当社の製品は、全国のさまざまなフィールドへと活躍の場を広げている。当社の二重殻タンクは、鉄と樹脂の間にフィルムを挟むことで、万が一鉄タンクから石油が漏れたときに、目視できる点が特長。

タンクの検査方法や検査数値の取り方から故障が起こった際の対処法まで、ユーザーの立場で『安全・安心』とともに製品を提供している。

②海外展開概要

<中国、東南アジアにおける販路拡大>

タイの建設企業が、ガソリンスタンドの新設需要を見込み、世界のタンクメーカーの技術力を調査していたところ日本の商社から「日本のトップメーカー」として推薦され、平成8年当社へ打診。国内市場の縮小傾向で、最盛期には25億円あった売上げが20億円に減少していた当社は、タイでの事業展開について検討を開始。

工場の建設に伴う投資リスクを考慮し、コア技術やノウハウの流出に配慮した技術供与方式を選択し、タイで事業化。続いて平成10年にマレーシア展開。契約金500万円と売上高の2%とするロイヤリティー収入(5年間、更新可)を獲得。

中国では、拡大する自動車市場に加え、土壌汚染防止に対する法規制の強化を見込み、商社の支援で平成22年に合弁で工場を建設。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

市場の拡大が大きく見込まれるインド・ムンバイに平成21年、社員を4ヶ月間派遣して事業展開の可能性調査をした。

ムンバイでの活動拠点は、ジェトロの「短期オフィススペース」の支援を受けて大変助かった。

④今後の事業展開について

現地パートナー企業が見つかり、調査継続契約をして現在も推進中。

さらにロシアも視野に入れて、海外全体で5年後に4億円、10年後には10億円の売上げを目指す。

SF二重殻タンク＝安全・安心・経済性を重視した地下タンク



アクアエンジェル＝緊急時に必要な水を大切に保管できる耐震性防火水槽・貯水槽



(平成23年2月現在)

データ出所: 中部経済産業局